

- 1) 江淵 直人：人工衛星による海面観測の現状と展望（2011年8月22日、第15回データ同化夏の学校）
- 2) 江淵 直人：インドの海洋観測衛星 Oceansat-2 搭載マイクロ波散乱計で観測された海上風ベクトルの精度評価（2011年9月29日 日本海洋学会）
- 3) 江淵 直人：インドの海洋観測衛星 Oceansat-2 搭載マイクロ波散乱計で観測された海上風ベクトルの精度評価（2011年10月18日 海洋理工学会）
- 4) 江淵 直人・深町 康・大島 慶一郎・高塚 徹・勝呂 一彦・並木 義則・B. Rector：13MHz 海洋レーダの混信について（2011年12月14日 研究集会「海洋レーダーを用いた海況監視システムの開発と応用」）
- 5) 江淵 直人：宗谷海峡域の潮流の季節変化（2011年12月15日 研究集会「日本海及び日本周辺海域の海況モニタリングと波浪計測に関する研究集会」）
- 6) 江淵 直人：海と大気の相互作用を測る（2012年1月7日 名古屋大学地球水循環研究センター公開講演会）
- 7) 阿部 泰人・江淵 直人：Aquarius/SAC-D が観測した海面塩分の精度評価（2012年3月29日 日本海洋学会）
- 8) 大島和裕，谷本陽一，謝尚平：CMIP3 マルチ気候モデルにおける冬季北太平洋の海面気圧トレンドにみられる地域差とその不確実性（2011年5月 日本気象学会 2011年春季大会）
- 9) 末吉雅和，安田珠幾，大島和裕：CMIP3 マルチモデルデータによるアリューシャン低気圧の再現性と将来変化の関係（2011年5月 日本気象学会 2011年春季大会）
- 10) 山中康裕，屋良由美子，藤井賢彦，岡田直資，山野博哉，大島和裕，M. Vogt, C. Hauri, M. Steinacher, N. Gruber：CMIP3 気候モデル出力を利用したサンゴ礁の生息域と白化の将来予測（2011年2月 H22年度 文科省革新プロ—環境省推進費戦略課題 S-5/S-8 合同シンポジウム「IPCC-AR5 の影響研究はこれで勝負」）
- 11) 大島和裕，谷本陽一，謝尚平，岡田 靖子：北太平洋における冬季 SLP トレンドの地域分布とその不確実性（2011年6月 環境省推進費 S-5 テーマ2 2011年度第1回テーマ会合）
- 12) 大島和裕，谷本陽一，岡田 靖子：北太平洋における大気・海洋の将来変化—地域分布とその不確実性—（2011年11月 環境省推進費 S-5 テーマ2 2011年度第2回テーマ会合）
- 13) 末吉雅和，安田珠幾，大島和裕：地球温暖化に伴う日本付近の海面高度と海面気圧の将来変化（2011年11月 日本気象学会 2011年春季大会）
- 14) 大島和裕，末吉雅和，安田珠幾，岡田 靖子，谷本陽一，謝尚平：CMIP3 マルチ気候モデルを用いた北太平洋における大気・海洋の将来変化（2011年11月 日本気象学会 2011年春季大会）
- 15) 三寺史夫，中村知裕：オホーツク海における大気海洋相互作用（2011年9月26日 2011

年度日本海洋学会秋季大会)

16) 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康 : 高解像度太平洋オホーツク海海洋-海氷モデルの構築 (2011年9月29日 2011年度日本海洋学会秋季大会)

17) 上原裕樹, Andrey A. Kruts, Yuri N. Volkov, 三寺史夫, 中村知裕, 小埜恒夫 : オホーツク海中層水に与えるベーリング海からの塩輸送の影響—FERHRI 収集資料を用いて— (2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)

18) 内本圭亮, 中村知裕, 西岡純, 三寺史夫, 三角和弘, 津旨大輔 : オホーツク海のごこの海底に鉄ソースがあれば高密度陸棚水の高濃度の鉄が実現され得るか? (2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)

19) 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康 : 高解像度太平洋・オホーツク海モデルの開発 (2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)

20) 西垣肇, 三寺史夫 : 沿岸側にプール域を伴って海底斜面から離れる亜熱帯西岸境界流 : 等地衡線による理解 (2012年3月27日 2012年度日本海洋学会春季大会)

21) 佐伯立, 三寺史夫, 藤崎歩美 : 海氷と内部波の相互作用によるアイスバンドの形成機構 (2012年3月27日 2012年度日本海洋学会春季大会)

22) 藤崎歩美, 三寺史夫, 若土正暁 : アムール河口域、北西部陸棚域の高解像度シミュレーション (2012年3月28日 2012年度日本海洋学会春季大会)

23) 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 牛尾収輝, 橋田元 : 南極海ケープダンレーポリニヤにおける海氷・海洋の係留観測 (2011年9月27日 日本海洋学会秋季大会)

24) 青山雄一, 深町康, 土井浩一郎, 青木茂, 渋谷和雄 : 南極昭和基地における驗潮儀とGPS ブイで観測された潮位変化の比較 (2011年10月26日 日本測地学会第116回講演会)

25) 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 牛尾収輝, 橋田元 : 南極海ケープダンレーポリニヤにおける海氷・海洋の係留観測 (2011年11月17日 第2回極域科学シンポジウム)

26) 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 北出裕二郎, 平野大輔, 牛尾収輝, 橋田元 : ケープダンレープロジェクト -第4の南極底層水起源域の同定- (2011年3月26日 日本海洋学会春季大会)

27) 三寺史夫, 内本圭亮, 中村知裕 : 冬季における宗谷暖流の力学 (2012年3月28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)

28) 上原裕樹, Kruts, A. A., Volkov, Y. N., 三寺史夫, 中村知裕, 小埜恒夫 : オホーツク海中層水に与えるベーリング海からの塩輸送の影響—FERHRI 収集資料を用いて— (2012年3月28日 2012年度 日本海洋学会 春季大会)

29) 阿部祥子, 中村知裕 : 大振幅内部波の碎波に伴う鉛直混合過程 (2011年12月5日 低温研共同研究集会「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物

質循環の役割」)

- 30) 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康 : オホーツク海・北太平洋熱塩循環モデリング (2011年12月6日 低温研共同研究集会「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物質循環の役割」)
- 31) 内本圭亮, 中村知裕, 西岡純, 三寺史夫, 三角和宏, 津旨大輔 : オホーツク海における鉄移送モデリングの試み (2011年9月29日 2011年度 日本海洋学会 秋季大会)
- 32) 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康 : 高解像度太平洋オホーツク海海洋-海氷モデルの構築 (2011年9月29日 2011年度 日本海洋学会 秋季大会)
- 33) 山野井克己, 溝口康子, 安田幸生, 大谷義一, 渡辺力 : 森林群落への Hsieh モデルの適用によるスカラーフラックスのフットプリント解析 (2012年3月16日 日本農業気象学会 2012年全国大会)
- 34) 溝口康子, 安田幸生, 大谷義一, 渡辺力, 小南裕志, 山野井克己 : 光合成有効放射量の推定方法 (2012年3月16日 日本農業気象学会 2012年全国大会)
- 35) 中井裕一郎, 高梨聡, 溝口康子, 大谷義一, 北村兼三, 山野井克己, 安田幸生, 小南裕志, 深山貴文, 清水貴範, 渡辺力, 齋藤武史 : タワーデータから算定した群落炭素収支機能パラメータ (2012年3月27日 第123回日本森林学会大会)
- 36) 陶泰典・久保川厚 : 西岸境界流の東向き続流ジェットの緯度について (2011年9月29日 日本海洋学会秋季大会)
- 37) 久保川厚 : 沿岸・陸棚スケールと大洋スケールの海洋前線の違い (2012年3月26日 日本海洋学会春季大会シンポジウム)
- 38) 三原草介・久保川厚 : 理想的な設定の海洋 GCM における亜熱帯反流の季節変動 (2012年3月27-29日 日本海洋学会春期大会)
- 39) 青木邦弘・久保川厚・古恵亮・McCreary, J.・佐々木英治 : OFES で再現された黒潮続流における渦運動量輸送とその基本流への影響 (2012年3月30日 日本海洋学会春期大会シンポジウム)
- 40) Hoshiba, Y., Yamanaka, Y., Mizuta, G., and Irino, T. : 数値計算による単純化した河口沿岸海域における栄養塩循環に関する考察 (2012年 2012年度日本海洋学会春季大会)
- 41) 嶋田啓資, 大島慶一郎, 青木茂 : 地形による異方性を考慮した南大洋格子化データセットの作成 (2011年9月29日 日本海洋学会秋季大会)
- 42) 青木茂 : 近年の極域海洋変動と淡水循環の役割 (2011年5月20日 日本気象学会春季大会)
- 43) Fujiyoshi Y., Oosumi, K., Mukasa K., Ito R. : ドップラーレーダを用いた海氷移動ベクトルの作成、渦状擾乱と突風域の検出 (2011年5月18日 日本気象学会春季大会)
- 44) Fujiyoshi Y., Fujiwara C. : 3次元走査型コヒーレントドップラーライダーを用いた陸上・海上・大気中の風の観測 (2011年9月16日 電子情報通信学会)

- 45) Sunmonu N., Fujiyoshi Y., Kurita N., Nagumo N., Muramoto K. : レーザ分光法を用いた水蒸気の安定同位体比の連続測定-札幌での短時間変動特性の季節変化と日本海での船上観測結果 (2011年11月18日 日本気象学会秋季大会)
- 46) 柏瀬陽彦、大島慶一郎、二橋創平 : オホーツク海における海水生産量の長期変動と中層水の変動との関係 (2011年9月29日 日本海洋学会秋季大会)
- 47) 青木茂, 金田麻理子, 矢吹崇, 永延幹男, 田村岳史, 大島慶一郎 : ロス海の塩分低下にみられる南極氷床融解の影響 (2011年9月29日 日本海洋学会秋季大会)
- 48) 中野渡拓也, 大島慶一郎 : オホーツク海沿岸水位に見られるコヒーレントな変動 (2011年9月29日 日本海洋学会秋季大会)
- 49) 杉本風子, 館山一孝, 榎本浩之, 白澤邦男, 下田春人, 宇都正太郎, 牛尾 収輝, 尾関俊浩, 清水大輔, 深町康, 大島慶一郎 : 電磁誘導法による海水厚と積雪深の計測 - 日本・オーストラリア南極観測データより - (2011 )
- 50) 中野渡拓也, 中村知裕, 内本圭亮, 三寺史夫, 大島慶一郎, 羽角博康 : 近年の地球温暖化に伴うオホーツク海中層水温の昇温メカニズム (2011年12月6日 低温研共同研究集会)
- 51) 岡田靖子・山崎孝治 : 沖縄梅雨の気候学的時間発展と年々変動-5月と6月の特徴の違いについて (2011年11月8日 異常気象と長期変動研究集会)
- 52) 渡邊武志・山崎孝治 : 西部チベット高原上空の擾乱により生じる下層のロスビー波のアジアモンスーンへの影響 (2011年11月16日 日本気象学会秋季大会)
- 53) 坂崎貴俊・藤原正智 : WINDAS で明らかになった日本上空下部対流圏の風の日変動 (2011年5月18日 日本気象学会 2011年度春季大会)
- 54) 坂崎貴俊・藤原正智・Xiaoli Zhang・Maura Hagan・Jeffrey Forbes : TIMED/SABER データおよび全球再解析データを用いた対流圏-下部中間圏の大気潮汐の研究 (2011年5月19日 日本気象学会 2011年度春季大会)
- 55) 藤原正智, 鈴木順子, A. Gettelman, M. I. Hegglin, 秋吉英治, 柴田清孝 : 再解析および化学気候モデルにおける熱帯対流圏界面領域の波活動 (2011年5月22日 日本地球惑星科学連合 2011年大会)
- 56) 坂崎貴俊・藤原正智・Xiaoli Zhang・Maura Hagan・Jeffrey Forbes : TIMED/SABER 衛星データおよび全球再解析データを用いた一日周期大気潮汐の研究 (2011年5月22日 日本地球惑星科学連合 2011年大会)
- 57) 今井弘二, 藤原正智, 鈴木睦, 眞子直弘, 佐野琢己, 塩谷雅人, 光田千紘, 高橋千賀子 : ゾンデデータとの比較による SMILES レベル 2 オゾンデータの検証 (2011年5月22日 日本地球惑星科学連合 2011年大会)
- 58) 大内麻衣, 笹子宏史, 松見豊, 中山智喜, 藤原正智, 清水健作, 柴田耕志, 塩谷雅人, 大橋勝文, 井上元, 今須良一, 横田達也 : 気球 CO2 ゾンデによる首都圏 CO2 排出量の測定 : 2011年1月の3地点同時観測キャンペーンの結果 (2011年5月23日 日本地球惑星科学

連合 2011 年大会)

- 59) 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Douglas Kinnison : SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動 (2012 年 3 月 2 日 第 26 回大気圏シンポジウム)
- 60) 寺尾建哉, 堀之内武 : 東部熱帯太平洋における下層雲変動の力学的要因 (2011 年 5 月 20 日 日本気象学会)
- 61) 本間有慈, 堀之内武 : 熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動の解析 (2011 年 5 月 21 日 日本気象学会)
- 62) 豊田威信, Smith, I. J., Gough, A. J., Langhorne, P. J., Frew, R. D., Leonard, G. H., Van Hale, R. J., Mahoney, A. R., and Haskell, T. G. : 海氷生成に伴う酸素安定同位体分別係数について  
(2012 年 3 月 27 日 日本海洋学会春季大会)
- 63) Toyota, T., Smith, I. J., Gough, A. J., Langhorne, P. J., Frew, R. D., Leonard, G. H., Van Hale, R. J., Mahoney, A. R., and Haskell, T. G. : Oxygen-isotope fractionation during the freezing of seawater (2011 年 11 月 15 日 第 2 回極域科学シンポジウム)
- 64) 豊田威信 and Haas, C. : 衛星 L-band SAR を用いた氷厚分布推定の可能性について (2011 年 9 月 28 日 日本海洋学会秋季大会)
- 65) 川島正行, 藤吉康志, 大井正行, 上庄拓也, 向笠康二郎 : オホーツク海沿岸に発生する帯状・渦状降雪雲のドップラーレーダ観測と数値実験 (2011 年 2 月 23 日 ワークショップ「降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究 (第 9 回)」)